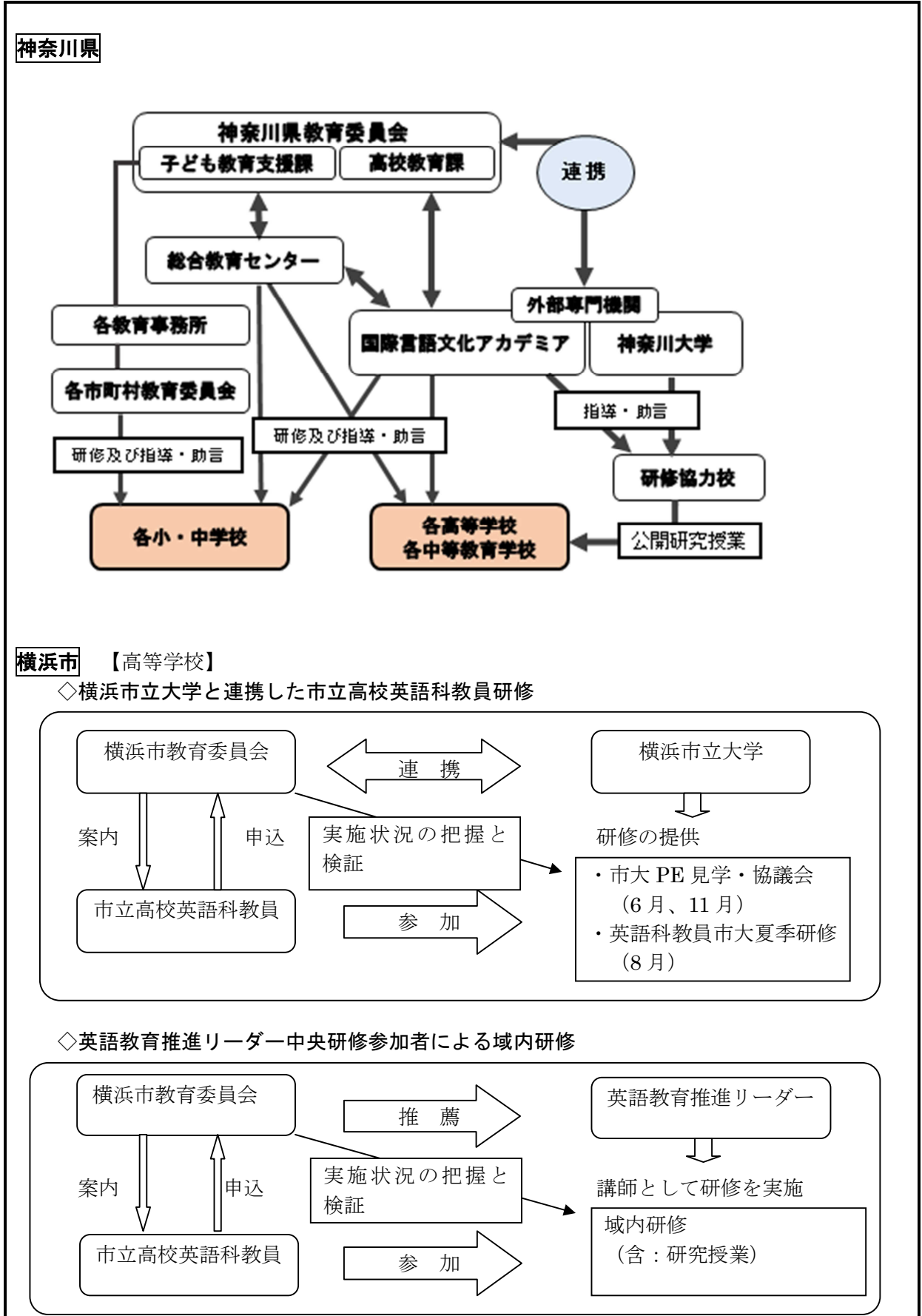




# 神奈川県英語教育改善プラン

1. 実施内容

(1) 研修体制の概要



**横浜市** 【小学校、中学校】

◇教育委員会が開催する研修

小学校外国語活動研修

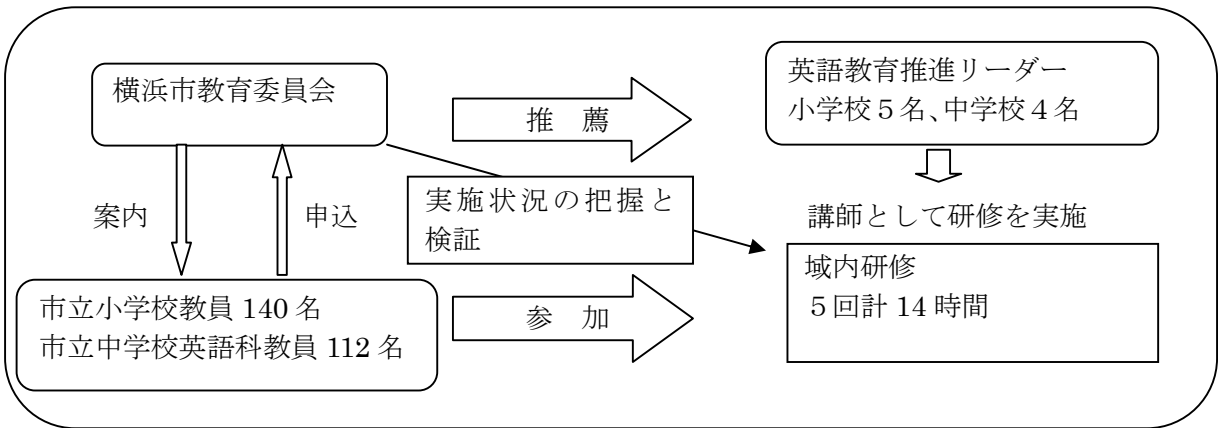
- ・有識者による講演（4月）
- ・教育委員会と小学校外国語活動研究会の共催による一斉授業研究会（12月）

中学校英語科研修

- ・有識者による講演（5月）
- ・教育委員会と中学校英語研究会の共催による授業研究会（7月、11月、2月）

教科別教育課程研究協議会（8月）  
 小学校外国語活動、中学校英語科合同開催  
 ・小学校、中学校の実践提案発表  
 ・小中別分科会実施

◇英語教育推進リーダー中央研修参加者による域内研修



**川崎市**【小学校、中学校、高等学校】

川崎市教育委員会 総合教育センター

## &lt;小学校&gt;

- ・外国語（英語）教育中核教員研修（英語教育推進リーダーを講師）
- ・外部専門機関有識者による講演
- ・外部専門機関による英語力向上のための演習
- ・英語教育推進リーダーによる公開授業

## &lt;中学校&gt;

- ・外国語（英語）教育指導力向上研修（英語教育推進リーダーを講師）
- ・英語教育推進リーダーによる公開授業

## &lt;高等学校&gt;

- ・外国語（英語）教育指導力向上研修（英語教育推進リーダーを講師）
- ・英語教育推進リーダーによる公開授業

## &lt;小学校外国語教育希望研修&gt;

- ・学級担任が主導する外国語活動に関する研修
- ・ALTとの効果的な授業に関する研修

## &lt;中・高等学校外国語教育希望研修&gt;

- ・英語で進める授業に関する研修
- ・ALTを有効活用した4技能を育成する授業に関する研修
- ・川崎の文化を英語で体験する研修

## &lt;教育委員会が主催する教育課程研究会等&gt;

- ・小学校外国語活動教育課程研究会
- ・中学校外国語（英語）教育課程研究会
- ・高等学校外国語（英語）研究協議会
- ・中高英語科教員研修会兼中高連絡協議会
- ・市教育委員会研究推進校 報告会
- ・小中カリキュラム開発研究校 報告会



- <各校種研究部会が主催する授業研究会> ・小学校国際教育研究会授業研究会
- ・中学校外国語（英語）部会地区別授業研究会
- ・高等学校外国語（英語）部会

**相模原市**

- ・相模原市立総合学習センター主催の初任者、3・5年次、10年経験者を対象とした研修講座
- ・相模原市立総合学習センター主催の英語教育推進リーダーを講師とする伝達研修講座
- ・相模原市立総合学習センター主催の公開授業研修講座
- ・相模原市立総合学習センター主催の学習指導要領研修講座
- ・学校教育課主催の教育課程研究会
- ・ALTとの授業づくり研修

**横須賀市**

- ①夏季休業期間における選択研修を中・高等学校の教員を対象として2回、小学校教員を対象として1回実施している。但し、希望があれば校種に関係なく受講することができる。
- ②小学校外国語活動の指導力の向上をねらいとして、年間3回の選択研修の講座を開催している。
- ③小学校外国語活動の推進のため、小学校からの希望によって実施する校内研究会を開催している。

## (2) 英語教育の状況を踏まえた目標管理

**神奈川県【高等学校】**

## 《取組》

- ① 「求められる英語力を有する英語担当教員の割合」について  
「英語教員指導力向上研修」を実施して英語教員の英語力及び英語指導力を向上させるとともに、管理職対象及び英語教員対象の教育課程説明会及び総合教育センターの指定研修において、英語教員の外部検定試験の受験を奨励していく。また、外部検定試験の受験料を支援し、教員が自身の英語力の把握ができるようにする。
- ② 「求められる英語力を有する生徒の割合」について  
研修協力校による公開研究授業や研究発表等により、生徒の英語力向上に向けて参考となる授業や取組事例を周知し、各校の授業改善を図る。また、総合教育センター及び県立国際言語文化アカデミアと連携し、学校訪問による授業視察及び指導・助言を行い、生徒の英語力の向上を図る。また、県事業として外部検定試験の受験料を支援し、生徒が目標を持って英語学習に取り組み、自身の英語力の把握ができるようにする。
- ③ 「学習到達目標の整備状況（設定・公表・達成状況の把握）」について  
全校が『『CAN-DOリスト』の形での学習到達目標』を設定するとともに、スピーキングテスト及びライティングテストを必ず行うこととし、教育課程調査において、指導主事が、訪問校の実施状況を確認して指導・助言を行う。また、各校が年間指導計画と『『CAN-DOリスト』の形での学習到達目標』を併せて生徒に配付することによって、全校が公表することとなる。
- ④ 「生徒の授業における英語による言語活動時間の割合」について  
研修協力校による公開研究授業や研究発表を通して参考となる授業や取組事例を周知するとともに、総合教育センターが行う指定研修及び県立国際言語文化アカデミアが行う「英語教育アドヴァンスト研修」や「英語教員指導力向上研修」等を通して、各校の授業改善を図り、平成29年度には全体の半数の学校で、ペア・グループワーク等を通じた言語活動を中心とした授業が行われるように取り組む。
- ⑤ 「パフォーマンステストの実施状況」について  
研修協力校による研究発表を通して参考となるパフォーマンステストの実施事例を周知するとともに、総合教育センターが行う指定研修及び県立国際言語文化アカデミアが行う「英語教育アドヴァンスト研修」や「英語教員指導力向上研修」等を通して、各校の授業改善を図り、各科目においてパフォーマンステストが着実に行われるように取り組む。
- ⑥ 「英語担当教員の英語使用状況」について  
研修協力校及びグローバル教育研究推進校による公開研究授業や研究発表を通して参考となる授業や取組事例を周知するとともに、総合教育センターが行う指定研修及び県立国際言語文化アカデミアが行う「英語教育アドヴァンスト研修」や「英語教員指導力向上研修」等を通して、各校の授業改善を図る。
- ⑦ 「英語担当教員に対する研修実施回数及び受講者数」について  
現在の取組を継続・検証していく。また、総合教育センター及び県立国際言語文化アカデミアと連携し、学校訪問による授業視察及び指導・助言を行う。

## 《検証・改善》

教員の数値目標達成に向けては、以下の方法でその進捗を定期的に管理し改善に努める。

- ・ 県内全高等学校に対する英語教育実施状況調査（英語教員の外部検定試験受験結果等の把握を含む） [12月]
- ・ 「英語教育アドヴァンスト研修」参加者に対する「教師向けCAN-DOリスト」による調査 [1月]
- ・ 「英語教育アドヴァンスト研修」参加者に対する授業観察 [6月、11月]
- ・ 教育委員会、総合教育センター指導主事による学校訪問時における、管理職及び教員に対

する聞き取り調査 [通年]

**神奈川県**【中学校】

《取組》

- ① 「求められる英語力を有する英語担当教員の割合」について  
「英語教員指導力向上研修」を実施して英語教員の英語力及び英語指導力を向上させるとともに、英語教員対象の本県教育課程研究会にて、英語教員の外部検定試験の受験を奨励していく。
- ② 「求められる英語力を有する生徒の割合」について  
「英語教員指導力向上研修」、教育課程研究会及び学校訪問等において、参考となる授業や取組事例について周知し、各校の授業改善を図る。
- ③ 「学習到達目標の整備状況（設定・公表・達成状況の把握）」について  
平成28年度に、域内全中学校において『CAN-DOリスト』の形での学習到達目標の設定をめざす中で、「英語教員指導力向上研修」、教育課程研究会及び学校訪問等でスピーキングテスト及びライティングテストを行うことを奨励し、指導主事が実施状況を確認し、必要に応じて指導・助言を行う。
- ④ 「生徒の英語による言語活動時間の割合」について  
「英語教員指導力向上研修」において、参考となる授業や取組事例を周知することで各校の授業改善を図り、平成29年には全体の半数以上の学校で、ペア・グループワーク等を中心とした英語による言語活動が授業の中で行われるように取り組む。
- ⑤ 「パフォーマンステストの実施状況」について  
「英語教員指導力向上研修」、教育課程研究会及び学校訪問等でスピーキングテスト及びライティングテストを行うことを奨励し、指導主事が実施状況を確認し、必要に応じて指導・助言を行う。
- ⑥ 「英語担当教員の授業における英語使用状況」について  
「英語教員指導力向上研修」を実施するとともに、教育課程研究会及び学校訪問等で参考となる授業や取組事例を周知することで各校の授業改善を図る。
- ⑦ 「英語担当教員に対する研修実施回数及び受講者数」について  
現在の取組を継続・検証していく。

《検証・改善》

教員の数値目標達成に向けては、以下の方法でその進捗を定期的に管理し改善に努める。

- ・ 県内全中学校に対する英語教育実施状況調査（英語教員の外部検定試験受験結果等の把握を含む） [12月]
- ・ 市町村教育委員会、県教育委員会指導主事による学校訪問時における、管理職および教員に対する聞き取り調査 [通年]

**神奈川県**【小学校】

《取組》

- ① 「研修実施回数及び受講者数」について  
平成27年度から実施している「小学校教員外国語活動指導力向上研修」を継続し、研修実施回数及び研修受講者数の拡充を図るとともに、これまでの取組を継続・検証していく。

《検証・改善》

教員の数値目標達成に向けては、以下の方法でその進捗を定期的に管理し改善に努める。

- ・ 研修実施回数、受講者数について実施後の数値を把握する。
- ・ 国際言語文化アカデミアが実施する「出前研修」実施状況について把握する。

**横浜市**【高等学校】

- ① 「求められる英語力を有する英語担当教員の割合」について  
英語教育推進リーダー中央研修参加者による域内研修及び横浜市立大学と連携した英語科教員研修を実施し、英語科教員の英語力及び英語指導力を向上させる。また、このような研修等

を「学び続ける教員像」について考える良い機会と捉え、外部検定試験の受験についても勧めていく。

- ② 「求められる英語力を有する生徒の割合」について  
市立高校では国が示す目標を更に高め、その実現に向け、TOEFL 等の外部指標を活用して生徒の英語力の状況を把握し英語教育の検証・改善を行うとともに、生徒が英語を学ぶ際のモチベーションを高めていく。
- ③ 「学習到達目標の整備状況（設定・公表・達成状況の把握）」について  
全校が CAN-DO リストの形での学習到達目標を設定するとともに、その目標については生徒とも共有する。教員は生徒の達成状況を把握することによって、指導と評価の改善につなげる。
- ④ 「生徒の授業における英語による言語活動時間の割合」について  
上記①と同様、研修による英語科教員の英語力及び英語指導力の向上を図り、授業を実際のコミュニケーションの場面とするための、「英語で授業」を展開する。また、アクティブ・ラーニングについて横浜市立高校教育課程研究委員会を中心に研究を進め、ペアやグループ活動なども効果的に取り入れ、生徒が主体的・協働的に学ぶ機会を充実させる。
- ⑤ 「パフォーマンステストの実施状況」について  
CAN-DO リストの形での学習到達目標を実際の指導と評価に反映させ、面接、エッセー、スピーチ等のパフォーマンス評価を各学校の実態に応じて、適切な評価方法を用いて実施していく。
- ⑥ 「英語担当教員の授業における英語使用状況」について  
上記①と同様、研修による英語科教員の英語力及び英語指導力の向上を図り、授業を実際のコミュニケーションの場面とするための、「英語で授業」を展開する。
- ⑦ 「英語担当教員に対する研修実施回数及び受講者数」について  
現在の取組を内容の充実を図りながら継続していく。

#### 横浜市【中学校】

- ① 「求められる英語力を有する教師の割合」について  
27年度は45%と、29年度までの国の目標50%に近づいてきている。「英語指導力向上研修」を実施して英語教員の英語力及び英語指導力を向上させるとともに、英語教員対象の説明会や担当者会等にて、英語教員の外部検定試験の受験を奨励していく。
- ② 「求められる英語力を有する生徒の割合」について  
27年度は50.2%と、29年度までの国の目標50%を達成した。今後、実用英語技能検定3級を基本とした受験を市立中学校全校で実施することにより、「求められる英語力を有する生徒の割合」を把握する。また、外部指標を活用することにより、生徒一人ひとりが達成度を確認し、今後の学習目標を持つとともに、各学校が結果をもとに自校の授業改善に生かす。
- ③ 「学習到達目標の整備状況（設定・公表・達成状況の把握）」について  
昨年度は CAN-DO リスト作成のための研修を実施し、設定の割合は上がったが、まだ50%である。来年度は、使用する教科書が変わるので、CAN-DO リストの作成を促す好機である。「指導した生徒が英語で何ができるか。」「指導している生徒に英語で何ができるようにしたいか。」を英語教員対象の説明会や担当者会等にて考えてもらい、学習到達目標設定の意義について理解してもらう。そして、そのための指導について考え、授業改善を図るとともに、目標やそのための指導について、生徒と共有する重要性について理解してもらう。
- ④ 「生徒の英語による言語活動時間の割合」について  
27年度は、割合は下がってしまったが、「あまり言語活動を行っていない」と答えた教員の数も減少した。「英語指導力向上研修」において、英語科教員の指導力向上を図り、授業を実際のコミュニケーションの場面とする授業展開を推進する。また、教育課程研究協議会で生徒の主体的な学びについて研究を進め、生徒が自分の考えや思いを伝え合いながら、主体的・協働的に学ぶ機会の充実を図る。
- ⑤ 「パフォーマンステストの実施状況（スピーキングテスト及びライティングテスト）」について  
スピーキングテストをライティングテストの2倍実施している。CAN-DO リストの形での学習



到達目標を実際の指導と評価に反映させるため、スピーチやインタビュー、ライティングテスト等のパフォーマンス評価を実施し、適切に評価することを推奨する。

⑥ 「英語担当教員の英語使用状況」について

27年度は、割合が下がってしまったが、「発話の半分未満を英語で行っている」と答えた教員の数も減少した。「英語指導力向上研修」において、英語科教員の指導力向上を図り、教員が英語を話し続けるのではなく、授業を実際のコミュニケーションの場面とする授業展開を推進する。そのためにも、生徒とのQ&Aやオーラルイントロダクション、生徒の表現のパラフレーズなどを推奨する。

⑦ 「研修実施回数及び受講者数」について

27年度は「英語指導力向上研修」を実施し、受講者数は増えた。より良い研修となるように、研修内容の改善を図り、魅力ある研修にしていく。

**横浜市**【小学校】

① 「研修実施回数及び受講者数」について

27年度は「英語教育中核教員研修」を実施し、受講者数は増えた。小学校高学年の教科化に向け、研修内容の改善を図りながら、魅力ある研修にしていく。

**川崎市**【高等学校】

① 「求められる英語力を有する教師の割合」について

外国語（英語）教育指導力向上研修を実施し、英語教員の英語力及び指導力を向上させる。また、英語教員の外部検定試験受験を奨励していく。

② 「求められる英語力を有する生徒の割合」について

年度末に実施する外国語教育担当者会において、現在の状況を周知し、各校での授業改善を働きかける。また、生徒の外部検定試験受験を奨励していく。

③ 「学習到達目標の整備状況（設定・公表・達成状況の把握）」について

全校が「『CAN-DOリスト』の形での学習到達目標」を設定するとともに、スピーキングテストやライティングテスト等によるパフォーマンス評価を実施するよう働きかける。英語科協議会において、各校の学習到達目標一覧を持ち寄り、活用状況の情報交換を行う。また、各校において「『CAN-DOリスト』の形での学習到達目標一覧」の公表を進める。

④ 「生徒の英語による言語活動時間の割合」について

英語教育実施状況調査結果を資料として、授業改善を働きかける。外国語（英語）教育指導力向上研修等を通して、授業改善を図り、生徒の英語による言語活動時間の拡充に取り組む。

⑤ 「各科目におけるスピーキングテスト及びライティングテストの実施状況」について

英語教育実施状況調査結果を資料として、授業改善を働きかける。外国語（英語）教育指導力向上研修等を通して、授業改善を図り、各科目においてパフォーマンス評価が着実に進むように取り組む。

⑥ 「英語担当教員の英語使用状況」について

外国語（英語）教育指導力向上研修等を通して、授業改善を図り、様々な機会に、授業は基本的に英語で進めることを周知していく。

⑦ 「研修実施回数及び受講者数」について

現在の取組を継続・検証していく。また、学校訪問による授業視察及び指導・助言を行う。

**川崎市**【中学校】

① 「求められる英語力を有する教師の割合」について

外国語（英語）教育指導力向上研修を実施し、英語教員の英語力及び指導力を向上させる。また、英語教員の外部検定試験受験を奨励していく。

② 「求められる英語力を有する生徒の割合」について

年度当初の研究部会において、現在の状況を周知し、各校での授業改善を働きかける。また、生徒の外部検定試験受験を奨励していく。

- ③ 「学習到達目標の整備状況（設定・公表・達成状況の把握）」について  
 全校が「『CAN-DOリスト』の形での学習到達目標」を設定するとともに、スピーキングテストやライティングテスト等によるパフォーマンス評価を実施するよう働きかける。教育課程研究会において、各校の学習到達目標一覧を持ち寄り、活用状況の情報交換を行う。また、各校において「『CAN-DOリスト』の形での学習到達目標一覧」の公表を進める。
- ④ 「生徒の英語による言語活動時間の割合」について  
 英語教育実施状況調査結果を資料として、授業改善を働きかける。外国語（英語）教育指導力向上研修等を通して、授業改善を図り、生徒の英語による言語活動時間の拡充に取り組む。
- ⑤ 「パフォーマンステストの実施状況」について  
 英語教育実施状況調査結果を資料として、授業改善を働きかける。外国語（英語）教育指導力向上研修等を通して、授業改善を図り、パフォーマンス評価が着実に進められるよう取り組む。
- ⑥ 「英語担当教員の英語使用状況」について  
 外国語（英語）教育指導力向上研修等を通して、授業改善を図り、様々な機会に、授業は基本的に英語で進めることを周知していく。
- ⑦ 「研修実施回数及び受講者数」について  
 現在の取組を継続・検証していく。また、学校訪問による授業視察及び指導・助言を行う。

#### 川崎市【小学校】

- ① 「相応の英語力を有する教員の全教員に占める割合」について  
 外国語（英語）教育中核教員研修を実施し、教員の英語力及び指導力を向上させる。また、小学校教員の外部検定試験受験を奨励していく。
- ② 「研修実施回数及び受講者数」について  
 現在の取組を継続・検証していく。また、学校訪問による授業視察及び指導・助言を行う。

#### 川崎市<平成27年度達成状況>

##### 【高等学校】

- ① 「求められる英語力を有する教師の割合」について  
 目標値に届かなかったが、改善状況にある。
- ② 「求められる英語力を有する生徒の割合」について  
 目標値に届かなかったが、改善状況にある。
- ③ 「学習到達目標の整備状況（設定・公表・達成状況の把握）」について  
 全校で設定することができ、目標値を上回った。公表や達成状況の把握は今後の課題である。
- ④ 「生徒の英語による言語活動時間の割合」について  
 目標値には届かなかったが、授業改善が進み、前年度と比べ大幅に向上した。
- ⑤ 「各科目におけるスピーキングテスト及びライティングテストの実施状況」について  
 実施する学校が増えてきているが、校内体制づくりで実施できていない学校がある。
- ⑥ 「英語担当教員の英語使用状況」について  
 英語で授業を進めることを働きかけているが、大幅な向上が認められない。
- ⑦ 「研修実施回数及び受講者数」について  
 英語教育推進リーダーを活用した指導力向上研修を着実に実施した。

##### 【中学校】

- ① 「求められる英語力を有する教師の割合」について  
 目標に届かなかった。微増状況である
- ② 「求められる英語力を有する生徒の割合」について  
 横ばい状況である。
- ③ 「学習到達目標の整備状況（設定・公表・達成状況の把握）」について  
 ほぼ、全校が設定できたが、公表、達成状況の把握は不十分である。

- ④ 「生徒の英語による言語活動時間の割合」について  
目標には届かなかったが、改善が進んでいる。
- ⑤ 「パフォーマンステストの実施状況」について  
各学年2回以上、実施しているが、1回のみ実施の学校もあった。
- ⑥ 「英語担当教員の英語使用状況」について  
目標には届かなかったが、平成25年度に比べ、大幅に改善した。
- ⑦ 「研修実施回数及び受講者数」について  
英語教育推進リーダーを活用した指導力向上研修を着実に実施した。

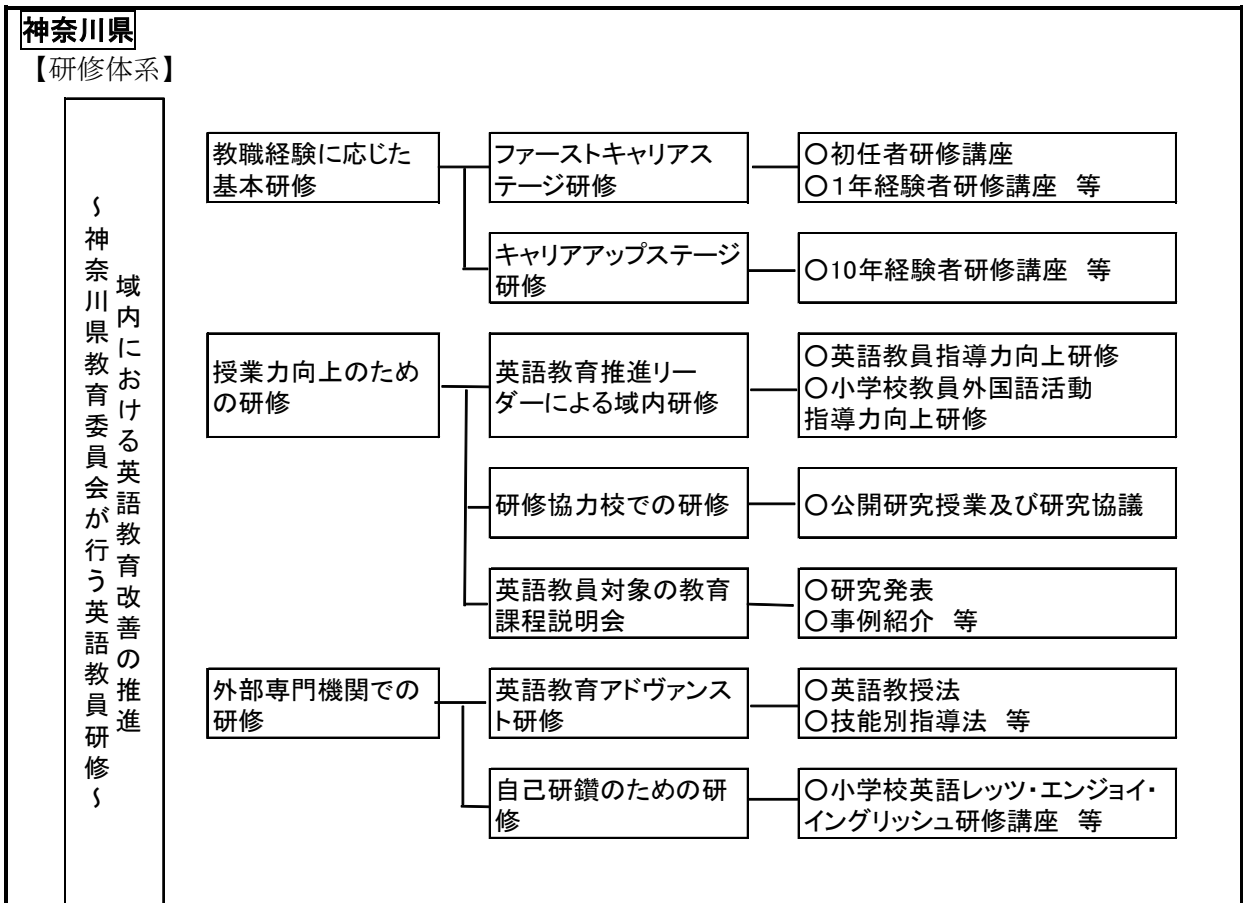
#### **相模原市【中学校】**

- ① 「求められる英語力を有する教師の割合」について  
各研修を通して英語教員の英語力及び英語指導力を向上させるとともに、英語教員対象の教育課程研究会にて、英語教員の外部検定試験の受験を奨励していく。
- ② 「求められる英語力を有する生徒の割合」について  
各研修や教育課程研究会及び学校訪問等において、参考となる授業や取組事例について周知し、各校の授業改善を図る。
- ③ 「学習到達目標の整備状況（設定・公表・達成状況の把握）」について  
平成28年度に、全中学校において『CAN-DOリスト』の形での学習到達目標の設定を目指す中で、各研修や教育課程研究会及び学校訪問等で『CAN-DOリスト』の効用を紹介し、設定や公表、状況把握を奨励していく。また、パフォーマンステストを行うことについても奨励する。
- ④ 「生徒の英語による言語活動時間の割合」について  
各研修や教育課程研究会及び学校訪問等において、参考となる授業や取組事例を周知することで各校の授業改善を図り、平成29年には80%以上の学校で、ペア・グループワーク等を中心とした英語による言語活動が授業の中で行われるように取り組む。
- ⑤ 「パフォーマンステストの実施状況（スピーキングテスト及びライティングテスト）」について  
各研修や教育課程研究会及び学校訪問等でパフォーマンステストを行うことを奨励する。
- ⑥ 「英語担当教員の英語使用状況」について  
各研修を実施するとともに、教育課程研究会及び学校訪問等で参考となる授業や取組事例を周知することで各校の授業改善を図る。
- ⑦ 「研修実施回数及び受講者数」について  
平成27年度から新たに英語教育推進リーダーを講師とする伝達研修を実施した。この取組も含め、現在の取組を継続・検証していく。

#### **横須賀市**

※中核市のため、県の目標管理に準じる。

(3) 研修の体系と内容の具体



**神奈川県** 【高等学校】

○ 初任者研修講座

対象	高等学校及び中等教育学校の外国語教員初任者
目的	学習指導目標を体系的に理解し、授業づくりに必要な基礎的・基本的な知識や技能及び教科指導の技術を身に付ける。
内容	学習指導要領、指導と評価の一体化、観点別学習状況の評価について理解する。また、ICTの活用、模範授業を通じた学習目標の到達に向けた授業づくりと英語による授業の実践的指導法を学ぶ。
受講予定者数	75名
評価方法	参加者対象のアンケートにより評価する。
平成28年度の計画	4技能の総合的な指導の具体について学び、実践的指導力を身に付ける。
平成29年度までの計画	授業づくりの基礎・基本を確立することが中心となるが、英語による授業の実践例と「CAN-DOリスト」を意識した授業づくりに資する研修を行う予定である。

○ 1年経験者研修講座

対象	高等学校及び中等教育学校の外国語教員1年経験者
目的	研修等で得た知識や技能を活用し、実践的な授業力の向上を図る。
内容	校内授業研究を通して、育みたい資質・能力の育成に向けた授業づくりのための授業改善について理解を深める。また、学校訪問サポートによる授業実践の観察と研究協議を行う。
受講予定者数	60名

評価方法	参加者対象のアンケートにより評価する。
平成 28 年度の計画	学校訪問サポートにより、生徒の実情に合わせた実践的指導力の充実を図る。
平成 29 年度までの計画	学校訪問サポートによる個別支援を継続し、学校目標や生徒の実情に合わせた授業づくりを支援していく予定である。
○ 2 年経験者研修講座	
対象	高等学校及び中等教育学校の外国語教員 2 年経験者
目的	自己の課題を認識し、教材活用能力の向上と授業づくりにおける成長を目指す
内容	個々の生徒のニーズに応じた育みたい資質・能力の育成に向けた授業づくりを学ぶ。目標達成のための効果的な教材の作成と活用法の実践例を共有する。
受講予定者数	69 名
評価方法	参加者対象のアンケートにより評価する。
平成 28 年度の計画	生徒の英語による言語活動の充実を図るための教材作成や指導力の向上を図る。また、教育のユニバーサルデザインの視点から授業づくりを学ぶ。
平成 29 年度までの計画	生徒が抱える課題に対応するために、教育のユニバーサルデザインの視点から授業づくりを学び、教材作成や授業方法の改善を図る研修を行う予定である。
○ 5 年経験者研修講座	
対象	高等学校及び中等教育学校の外国語教員 5 年経験者
目的	教科指導に関する専門的な知識や技能を習得し、生徒の個々の課題に応じた授業力の向上を図る。
内容	英語による授業及びコミュニケーション能力の育成の実践例から、授業分析と授業評価の方法を学ぶ。
受講予定者数	64 名
評価方法	参加者対象のアンケートにより評価する。
平成28 年度の計画	模範授業を通して、生徒の実情に合わせた目標を達成するための実践的指導法について学び、これまでの経験からのアイデアを共有し、授業力の向上を図る。
平成 29 年度までの計画	個別の課題に対応するための選択講座や他校訪問、外部機関等を活用した指導力向上のための研修を行う予定である。
○ 10 年経験者研修講座	
対象	高等学校及び中等教育学校の外国語教員 10 年経験者
目的	授業改善に向けた授業づくりのための技術を高めるとともに、組織的に授業改善に取り組むための手立てを身に付ける。
内容	単元構想や評価計画を踏まえ、研究授業や研究協議による組織的な授業改善を推進する手法を学ぶ。
受講予定者数	9 名
評価方法	参加者対象のアンケートにより評価する。
平成 28 年度の計画	模範授業を通して、生徒の実情に合わせた目標を達成するための実践的指導法について学ぶ。また、評価計画や授業計画の立案に当たり、組織的に取り組むことの重要性を踏まえ、授業改善を推進するリーダーとしての資質を身に付ける。
平成 29 年度までの計画	学校訪問や選択講座、外部機関等の活用により、授業改善を推進するリーダーとしての資質を身に付けるための研修を行う予定である。

○ 公開研究授業	
対象	全課程教員 ※教育事務所の指導主事及び研修協力校の近隣中学校の教員も対象とする。
目的	研修協力校及びグローバル教育研究推進校の授業を公開するとともに、研究協議を行い、各校の授業改善を図る。
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>研究授業の後、研究協議により、参加者は、研修協力校及びグローバル教育研究推進校の取組について理解を深めるとともに、効果的な指導方法について意見を交換する。</li> <li>外部有識者（神奈川大学、国際言語文化アカデミア）が指導・助言を行う。</li> </ul> ※公開研究授業の準備段階においても外部有識者が研修協力校の授業を視察し指導・助言を行う。
受講予定者数	175名程度
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>参加者対象のアンケートにより評価する。</li> <li>上記3（2）の④及び⑥の結果により評価する。</li> </ul>
平成28年度の計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成27年度「外部専門機関と連携した英語指導力向上事業」に係る研修協力校1校が継続して研修協力校となる。</li> <li>上記の1校に加えて新たに1校を研修協力校とする。</li> <li>県指定によるグローバル教育研究推進校でも公開研究授業を行う。</li> </ul>
平成29年度までの計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>2年を目途に、研修協力校を入れ替え、研修協力校としての指定終了後も、学校が主催して積極的に授業研究や公開研究授業を行うようにする。</li> </ul>
○ 教科別教育課程説明会（外国語・英語）	
対象	全課程教員 ※各教育事務所の指導主事も対象とする。
目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>英語による授業の効果的な指導法について研修を行い、英語教員の指導力向上を図る。</li> <li>英語4技能をバランスよく育成する指導方法について研修を行い、各校の授業改善を図る。</li> </ul>
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>研修協力校の担当者が、スピーキングテスト及びライティングテストの実施方法や評価方法などについて発表する。</li> </ul>
受講予定者数	170名程度
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>参加者対象のアンケートにより評価する。</li> <li>上記3（2）の④及び⑥の結果により評価する。</li> </ul>
平成28年度の計画	主に「コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」の授業改善を図ることを目的とする。
平成29年度までの計画	「英語表現Ⅰ」及び「英語表現Ⅱ」の授業改善についても研修の内容として計画する。
○ 「英語教育アドヴァンスト研修」	
対象	県内の優秀教員
目的	英語教員の英語指導力向上を効果的に推進できる人材を育成し、その成果を他の教員に還元することで、英語教員全体のレベルアップを図る。
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>英語による討論における手順と留意点</li> <li>英語の論文の書き方</li> <li>言語習得を促す教材開発、教材活用</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自らの授業を改善する方法（課題発見・仮説の設定・成果の検証）</li> <li>・教科書を活用して異文化理解を促進する手法</li> <li>・その他</li> </ul>
受講予定者数	15名
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者対象のアンケートにより評価する。</li> <li>・受講修了者が行う研修の回数により評価する。</li> </ul>
平成28年度の計画	今年度から5年間で約75名の中核教員を育成するため、15名の教員を対象とする。
平成32年度までの計画	対象を15名程度として、研修を継続する。

## ○ 「英語教員指導力向上研修」

対象	高等学校及び中等教育学校の外国語教員
目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英語教員の英語力の向上を図る。</li> <li>・英語による授業を行うための実践的な指導法についての研修を行い、各校での授業改善を図る。</li> </ul>
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英語教育推進リーダーを講師とする域内研修。</li> <li>・「話すこと」「書くこと」「読むこと」「聞くこと」に係る言語活動、教室英語、語彙・表現、コミュニケーションを支えるための文法について学ぶ。</li> </ul>
受講予定者数	300名
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者対象のアンケートにより評価する。</li> <li>・上記3（2）の①、④及び⑥の結果により評価する。</li> </ul>
平成28年度の計画	研修を継続するとともに、次年度の実施に向けた検証を行う。
平成29年度までの計画	研修を継続するとともに、次年度の実施に向けた検証を行う。

**神奈川県**【中学校】

## ○ 初任者研修講座

対象	中学校の外国語教員初任者
目的	学習指導目標を体系的に理解し、授業づくりに必要な基礎的・基本的な知識や技能及び教科指導の技術を身に付ける。
内容	学習指導要領、指導と評価の一体化、観点別学習状況の評価について理解する。また、ICTの活用、模範授業を通じた学習目標の到達に向けた授業づくりを学び、授業改善を意識した模擬授業を実施する。
受講予定者数	40名
評価方法	参加者対象のアンケートにより評価する。
平成28年度の計画	4技能を統合した指導法の具体について学び、実践的指導力を身に付ける。
平成29年度までの計画	授業づくりの基礎・基本を確立することが中心となるが、「英語による授業」の授業づくりと実践を行う予定である。

## ○ 1年経験者研修講座

対象	
目的	
内容	県内4教育事務所で対応しています。
受講予定者数	
評価方法	
平成28年度の計画	
平成29年度までの計画	

○ 2年経験者研修講座	
対象	中学校の外国語教員 2年経験者
目的	自己の課題を認識し、教材活用能力の向上と授業づくりにおける成長をめざす。
内容	個々の生徒のニーズに応じた育みたい資質・能力の育成に向けた授業づくりを学ぶ。目標達成のための効果的な教材の作成と活用法の実践例を共有する。
受講予定者数	32名
評価方法	参加者対象のアンケートにより評価する。
平成28年度の計画	生徒の英語による言語活動の充実を図るための教材作成や指導力の向上を図る。また、教育のユニバーサルデザインの視点から授業づくりを学ぶ。
平成29年度までの計画	生徒が抱える課題に対応するために、教育のユニバーサルデザインの視点から授業づくりを学び、教材作成や授業方法の改善を図る研修を行う予定である。
○ 5年経験者研修講座	
対象	中学校の外国語教員 5年経験者
目的	教科指導に関する専門的な知識や技能を習得し、生徒の個々の課題に応じた授業力の向上を図る。
内容	教育のユニバーサルデザインの視点から授業づくりを学ぶ。コミュニケーション能力の育成の実践例から、授業分析と授業評価の方法を学ぶ。
受講予定者数	24名
評価方法	参加者対象のアンケートにより評価する。
平成28年度の計画	生徒の実情に合わせた目標を達成するための実践的指導法について学び、これまでの経験からのアイデアを共有し、授業力の向上を図る。
平成29年度までの計画	個別の課題に対応するための選択講座や他校訪問、外部機関等を活用した指導力向上のための研修を行う予定である。
○ 10年経験者研修講座	
対象	中学校の外国語教員 10年経験者
目的	授業改善に向けた授業づくりのための技術を高めるとともに、組織的に授業改善に取り組むための手立てを身に付ける。
内容	単元構想や評価計画を踏まえ、研究授業や研究協議による組織的な授業改善を推進する手法を学ぶ。
受講予定者数	25名
評価方法	参加者対象のアンケートにより評価する。
平成28年度の計画	模範授業を通して、生徒の実情に合わせた目標を達成するための実践的指導法について学ぶ。また、評価計画や授業計画の立案に当たり、組織的に取り組むことの重要性を踏まえ、授業改善を推進するリーダーとしての資質を身に付ける。
平成29年度までの計画	学校訪問や選択講座、外部機関等の活用により、授業改善を推進するリーダーとしての資質を身に付けるための研修を行う予定である。
○ 「英語教員指導力向上研修」	
対象	県内の各教育事務所（4所）が選出した教員
目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 英語教員の指導力の向上に資する研修を実施することで、教員自身が英語力を向上しようとする意欲を身に付ける。</li> <li>・ 英語の4技能に関する研修を通して、平成28年度までに全校</li> </ul>



	が設定することとなっている「CAN-DOリスト」(4技能の学習到達目標を設定したもの)の効果的な活用方法を理解する。
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>英語教育推進リーダーを講師とする域内研修。</li> <li>「話すこと」「書くこと」「読むこと」「聞くこと」に係る言語活動、教室英語、語彙・表現、コミュニケーションを支えるための文法について学ぶ。</li> </ul>
受講予定者数	100名(1所25名の受講者を選出する。)
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>参加者対象のアンケートにより評価する。</li> <li>①、④及び⑥の結果により評価する。</li> </ul>
平成28年度の計画	研修を実施するとともに、次年度に向けた検証を行う。
平成29年度までの計画	求められる英語力を有していない英語教員を優先して研修対象者に含めるようにする。

### 神奈川県【小学校】

#### ○ 「小学校教員外国語活動指導力向上研修」

対象	県内の各教育事務所(4所)が選出した教員
目的	小学校教員の外国語活動における指導力の向上に資する研修を実施し、教員自身が英語力を向上しようとする意欲を身に付ける。
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>英語教育推進リーダーを講師とする域内研修。</li> <li>教室英語、絵本の活用、単語や表現の学習、ALTとの打合せ、歌の活用、アルファベットの音、指導案の作成、他教科と関連した内容を取り入れた活動について学ぶ。</li> </ul>
受講予定者数	100名(1所25名の受講者を選出する。)
評価方法	参加者対象のアンケートにより評価する。
平成28年度の計画	研修を実施するとともに、次年度に向けた検証を行う。
平成29年度までの計画	研修対象者に含めるようにする。

#### ○ 自己研鑽研修講座「小学校英語レッツ・エンジョイ・イングリッシュ研修講座」(総合教育センター主催)

対象	小学校教員・特別支援学校教員
目的	小学校外国語活動の授業の充実に向けて、授業ですぐに活用できる活動を習得し、実践的な指導力の向上を図る。
内容	児童の興味・関心を踏まえた活動やその進め方について学ぶ。
受講予定者数	30名
評価方法	参加者対象のアンケートにより評価する。
平成28年度の計画	先進校の取組、実際の授業を視聴することを通して、外国語活動の目標に向けた具体的な方法やポイントについて学ぶ。
平成29年度までの計画	小学校英語の教科化に向け、先進校の取組や英語教育推進リーダー等を活用し、次期学習指導要領の改訂に資する研修を行う予定である。

**横浜市【高等学校】**

## ○横浜市立大学「PE Grammar 教授法」6月

対象	市立高校各校の教員
目的	横浜市立大学の必修科目である Practical English (PE) の授業見学を通して、新しい学力観に立つ学習指導の工夫改善につなげるとともに、英語科教員の英語力及び指導力の向上を図ることを目的とする。
内容	・PE 授業見学及びディスカッション PE 授業見学後、PE インストラクターより授業内容についての説明及び質疑の時間を設け、指導方法について理解を深める。 参加者同士でのディスカッションを通し、各校の現状や課題を振り返り、授業改善に取り組もうとする意識を高める。
受講予定者数	10名
評価方法	参加者対象のアンケートにより評価する。
平成27年度の計画	研修を実施するとともに、次年度に向けた検証を行う。
平成29年度までの計画	参加者によるアンケートを基に内容の充実を図りながら継続していく。

## ○英語科教員研修（横浜市立大学夏季研修）8月

対象	市立高校各校の教員
目的	生徒の言語活動が中心となった授業にするための教授法を学び、実践に結び付ける。
内容	事前課題 ・夏休み明けに行う予定の1時間分の指導案を作成・提出 当日の内容 ・横浜市立大学教授による講義 ・Practical English インストラクターによる模擬授業 ・グループ内での模擬授業及び討議 事後課題 ・研修を生かした授業を各校で実施 ・授業実践報告書の作成・提出
受講予定者数	10名
評価方法	参加者対象のアンケートにより評価する。
平成27年度の計画	研修を実施するとともに、次年度に向けた検証を行う。
平成29年度までの計画	参加者によるアンケートを基に内容の充実を図りながら継続していく。

## ○横浜市立大学「PE Grammar 教授法」11月

対象	市立高校各校の教員
目的	横浜市立大学の必修科目である Practical English (PE) の授業見学を通して、新しい学力観に立つ学習指導の工夫改善につなげるとともに、英語科教員の英語力及び指導力の向上を図ることを目的とする。
内容	・PE 授業見学及びディスカッション PE 授業見学後、PE インストラクターより授業内容についての説明及び質疑の時間を設け、指導方法について理解を深める。 参加者同士でのディスカッションを通し、各校の現状や課題を振り返り、授業改善に取り組もうとする意識を高める。
受講予定者数	10名
評価方法	参加者対象のアンケートにより評価する。

平成 27 年度の計画	研修を実施するとともに、次年度に向けた検証を行う。
平成 29 年度までの計画	参加者によるアンケートを基に内容の充実を図りながら継続していく。

## ○英語教育推進リーダー中央研修参加者による域内研修

対象	市立高校各校の教員
目的	グローバル化に対応した人材の育成を強化するため、英語教育に携わる者の指導力の向上を図る。
内容	英語教育推進リーダー中央研修参加者による域内研修 「話すこと」「書くこと」「読むこと」「聞くこと」に係る言語活動、教室英語、語彙・表現、コミュニケーションを支えるための文法について学ぶ。
受講予定者数	20 名
評価方法	参加者対象のアンケートにより評価する。
平成 27 年度の計画	研修を実施するとともに、次年度に向けた検証を行う。
平成 29 年度までの計画	研修を継続するとともに、次年度に向けた検証を行う。

**横浜市**【中学校】

## ○ 講演

対象	全教員
目的	・指導法について研修を行い、英語教員の指導力向上を図る。
内容	・CAN-DO リストの作成 ・指導と評価の一体化
受講予定者数	400 名程度
評価方法	・参加者対象のアンケートにより評価する。
平成 27 年度の計画	学習指導要領の改訂に向けて、授業改善、指導力向上をねらいとした内容とする。
平成 29 年度までの計画	学習指導要領の改訂に向けて、授業改善、指導力向上をねらいとした内容とする。

## ○ 授業研究会

対象	全教員
目的	・授業を公開するとともに、研究協議を行い、各校の授業改善を図る。
内容	・授業校の取組について理解を深めるとともに、効果的な指導方法について意見を交換する。 ・指導主事が指導・助言を行う。
受講予定者数	40 名程度
評価方法	・参加者対象のアンケートにより評価する。
平成 27 年度の計画	年間 3 回実施する（7 月、11 月、2 月）。南高校附属中学校の授業公開を行う。
平成 29 年度までの計画	年間 3 回実施する（7 月、11 月、2 月）。南高校附属中学校やラウンド方式を実施している学校の授業公開を行う。

## ○ 教育課程研究協議会

対象	全教員
目的	・研究テーマに沿った実践提案を発表し、効果的な指導法について意見を交換する。
内容	・小学校、中学校の実践提案発表

	・小中別分科会実施
受講予定者数	300名程度
評価方法	・参加者対象のアンケートにより評価する。
平成27年度の計画	小中合同で実施し、小中一貫英語教育の推進を図る。
平成29年度までの計画	小中合同で実施し、小中一貫英語教育の推進を図る。

## ○ 英語指導力向上研修

対象	教育委員会が選出した学校の教員
目的	中学校英語科教員が今後の英語教育に必要な知識や技能等を習得し授業改善に生かすとともに、各学校における教科会等において指導力向上に向けた取組を行う教員を育成する。
内容	・英語教育推進リーダーを講師とする域内研修。 ・「話すこと」「書くこと」「読むこと」「聞くこと」に係る言語活動、教室英語、語彙・表現、コミュニケーションを支えるための文法について学ぶ。
受講予定者数	112名（1コース28名の受講者を選出する。）
評価方法	・参加者対象のアンケートにより評価する。
平成27年度の計画	研修を実施するとともに、次年度に向けた検証を行う。
平成29年度までの計画	4方面や区のバランスを考え、大規模校（英語科教員の多い学校）から1名ずつ教員を選出していく。

**横浜市【小学校】**

## ○ 講演

対象	全教員
目的	・指導法について研修を行い、英語教員の指導力向上を図る。
内容	・外国語活動のねらい ・学習指導要領の改定に向けて
受講予定者数	400名程度
評価方法	・参加者対象のアンケートにより評価する。
平成27年度の計画	学習指導要領の改訂に向けた、授業改善、指導力向上をねらいとした内容も入れる。
平成29年度までの計画	学習指導要領の改訂に向けて、授業改善、指導力向上をねらいとした内容とする。

## ○ 一斉授業研究会

対象	全教員
目的	・授業を公開するとともに、研究協議を行い、各校の授業改善を図る。
内容	・英語教育推進リーダーの授業をから学ぶとともに、効果的な指導方法について意見を交換する。 ・指導主事が指導・助言を行う。
受講予定者数	160名程度
評価方法	・参加者対象のアンケートにより評価する。
平成27年度の計画	方面別に4会場で12月に実施する。
平成29年度までの計画	方面別に4会場で12月に実施する。記録映像を残し、4会場の授業を全て見られるようにする。

○ 教育課程研究協議会	
対象	全教員
目的	・研究テーマに沿った実践提案を発表し、効果的な指導法について意見を交換する。
内容	・小学校、中学校の実践提案発表 ・小中別分科会実施
受講予定者数	300名程度
評価方法	・参加者対象のアンケートにより評価する。
平成27年度の計画	小中合同で実施し、小中一貫英語教育の推進を図る。
平成29年度までの計画	小中合同で実施し、小中一貫英語教育の推進を図る。
○ 英語教育中核教員研修	
対象	教育委員会が選出した学校の教員
目的	小学校外国語活動を各学校で推進する教員（「小学校英語教育中核教員」：以下「中核教員」）が、今後の英語教育に必要な知識や技能等を習得し、各学校において本研修を踏まえた外国語活動を実施する。
内容	・英語教育推進リーダーを講師とする域内研修。 ・教室英語、絵本の活用、単語や表現の学習、歌の活用、アルファベットの音、授業指導案の作成、他教科等と関連した内容を取り入れた活動などについて学ぶ。
受講予定者数	140名（1コース28名の受講者を選出する。）
評価方法	・参加者対象のアンケートにより評価する。
平成27年度の計画	研修を実施するとともに、次年度に向けた検証を行う。
平成29年度までの計画	4方面や区のバランスを考え、大規模校（英語科教員の多い学校）から1名ずつ教員を選出していく。
川崎市	
平成26年度より英語教育推進リーダーを活用した指導力向上研修を小・中・高ともに年度を越えて実施している。	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・第1期 平成26・27年度研修（平成27年1月～平成28年3月）</li> <li>・第2期 平成27・28年度研修（平成28年2月～平成29年3月）</li> <li>・第3期 平成28・29年度研修（平成29年1月～平成30年3月）</li> </ul>	
川崎市【高等学校】	
○平成27・28年度外国語（英語）教育指導力向上研修	
対象	高等学校の外国語教員
目的	・教員の指導力及び英語力の向上を図る。 ・英語による授業を行うための実践的な指導法について研修を行い、各校での授業改善を図る。
内容	・英語教育推進リーダーを講師とする研修。 ・「話すこと」「書くこと」「読むこと」「聞くこと」に係る言語活動、教室英語、語彙・表現、コミュニケーションを支えるための文法について学ぶ。
受講予定者数	10名
評価方法	・参加者対象の授業実践報告書及びアンケートにより評価する。 ・上記3（2）の①、④及び⑥の結果により評価する。
平成27年度の計画	・第1期研修を継続、第2期研修を開始している。

平成 29 年度までの計画	研修を継続するとともに、次年度の実施に向けた検証を行う。
---------------	------------------------------

### 川崎市【中学校】

○平成 27・28 年度外国語（英語）教育指導力向上研修

対象	中学校の外国語教員
目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員の指導力及び英語力の向上を図る。</li> <li>・英語による授業を行うための実践的な指導法について研修を行い、各校での授業改善を図る。</li> </ul>
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英語教育推進リーダーを講師とする研修。</li> <li>・「話すこと」「書くこと」「読むこと」「聞くこと」に係る言語活動、教室英語、語彙・表現、コミュニケーションを支えるための文法について学ぶ。</li> </ul>
受講予定者数	52 名
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者対象の授業実践報告書及びアンケートにより評価する。</li> <li>・上記 3（2）の①、④及び⑥の結果により評価する。</li> </ul>
平成 27 年度の計画	・第 1 期研修を継続、第 2 期研修を実施している。
平成 29 年度までの計画	研修を継続するとともに、次年度の実施に向けた検証を行う。

### 川崎市【小学校】

○平成 27・28 年度外国語（英語）教育中核教員研修

対象	小学校の外国語教育中核教員
目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員の外国語（英語）教育における指導力及び英語力の向上に資する研修を実施し、各学校における外国語教育の中核を担う教員を育成する。</li> <li>・英語による授業を行うための実践的な指導法について研修を行い、各校での授業改善を図る。</li> </ul>
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英語教育推進リーダーを講師とする研修。</li> <li>・教室英語、絵本の活用、単語や表現の学習、ALT との打合せ、歌の活用、アルファベットの音、指導案の作成、他教科と関連した活動について学ぶ。</li> </ul>
受講予定者数	113 名
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者対象の校内研修実施報告書及びアンケートにより評価する。</li> <li>・上記 3（2）の①の結果により評価する。</li> </ul>
平成 27 年度の計画	・第 1 期研修を継続、第 2 期研修を開始している。
平成 29 年度までの計画	研修を継続するとともに、次年度の実施に向けた検証を行う。

○平成 27 年度の進捗状況・課題

#### 【高等学校】

平成 26 年度 2 月より開始した、平成 26・27 年度研修を予定通り終了した。ブリティッシュ・カウンシルの訪問もあり、研修について助言をいただくことができた。少人数の実施であったが推進リーダーの一生懸命さに受講者も非常に協力的で充実した研修となった。

3 月から平成 27・28 年度研修を開始している。

#### 【中学校】

平成 26 年度 1 月より開始した、平成 26・27 年度研修を予定通り終了した。学校数が 52 校のため、推進リーダー 2 名で適切な人数での研修を進めることができた。研修内容も全校に伝わり、効果的な研修となっている。また、推進リーダーの前向きな姿勢が受講生によい影響を与えてい

た。

2月から平成27・28年度研修を開始している。

【小学校】

平成26年度1月より開始した、平成26・27年度研修を予定通り終了した。全校から1名を対象として実施しているため、少人数での研修となっていないことが課題である。外部機関を活用しながら1グループ40名弱での研修としている。推進リーダーの教員としての魅力もあり、受講生が楽しみながら研修に参加することができていた。小学校については研修ごとに授業実践レポートを課題とし、高学年でなくても研修で受けたことを少しでも実践できるようにした。

1月から平成27・28年度研修を開始している。平成26年度の推進リーダーも活用し4名で最初の研修を実施したため、1グループ30名以下で、適切な研修を進めることができた。しかし、研修内容が若干異なるため、推進リーダーに研修内容の調整をする必要があり課題を残した。

全校種ともに、研修後の実践とその報告書の提出を求めており、今後その共有方法を検討していきたい

**相模原市**【中学校】

○初任者研修講座

対象	新規採用中学校英語科教員
目的	ねらいを明確にすることや、生徒をよく見て、実態に合わせて指導することの大切さを学ぶ。
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒を見る視点からの授業づくりの具体的な手だてや評価について（講義・協議）</li> <li>・授業でのICTの活用について（実習）</li> <li>・各教科の専門的な授業づくりについて（授業参観・協議）</li> <li>・児童生徒の実態をふまえた授業づくりの大切さについて（授業参観・協議）</li> <li>・授業づくりを通じた児童生徒理解の大切さについて（協議）</li> </ul>
受講予定者数	6名
評価方法	参加者対象のアンケートにより評価する。
平成28年度の計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業づくりの基本について学ぶ。</li> <li>・6回実施</li> </ul>
平成29年度までの計画	28年度の研修の実施状況・反省を生かし、改善しながら同様の研修を行う予定である。

○3年次研修講座

対象	経験2年目の中学校英語科教員
目的	自主的・計画的な授業公開や研修講座の受講を通して、各教科の専門的な知識・技能を高め、実態に応じた多様な指導法を学ぶ。
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己の授業力向上のための課題について（講義・協議・演習）</li> <li>・教科の専門性を高めるための多様な指導方法について（選択研修、授業参観・協議）</li> <li>・授業公開（指導主事による授業参観・協議）</li> </ul>
受講予定者数	19名
評価方法	参加者対象のアンケートにより評価する。
平成28年度の計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業参観、授業実践、協議等を通して自己の授業力を向上させる。</li> <li>・4回実施</li> </ul>
平成29年度までの計画	28年度の研修の実施状況・反省を生かし、改善しながら同様の研修を行う予定である。

○5年次研修講座	
対象	経験5年目の中学校英語科教員
目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同僚とかかわり合う中での授業研究・授業公開を通して、自分の課題を明らかにし、改善していくことの大切さを学ぶ。</li> <li>・めざす子どもの姿を共有し、組織的・計画的に授業改善に取り組むことの大切さを学ぶ。</li> </ul>
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同僚とかかわり合う中での授業づくりについて（講義・協議）</li> <li>・授業公開（校内教職員による参観・協議、指導主事による授業参観・協議）</li> <li>・教科の専門性を高めるための多様な指導法について（選択研修、授業参観・協議・講演等）</li> </ul>
受講予定者数	4名
評価方法	参加者対象のアンケートにより評価する。
平成28年度の計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同僚とかかわりながらの授業づくりを通して専門性を高める。</li> <li>・4回実施</li> </ul>
平成29年度までの計画	28年度の研修の実施状況・反省を生かし、改善しながら同様の研修を行う予定である
○10年経験者研修講座	
対象	経験10年を超えた中学校英語科教員
目的	公開授業や後輩教員の授業改善に積極的にかかわることを通して、新たな視点を持ち、自ら専門性を高めることの大切さを学ぶ。
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・チームで行う授業づくりにおける10年経験者教員の役割（講義・協議）</li> <li>・人材育成を意識した授業づくりについて（協議）</li> <li>・組織を活性化する授業づくりのあり方について（協議）</li> <li>・校内研究の推進及び効果的な授業づくりのあり方について（市内研究発表への参加）</li> <li>・組織を活性化する授業づくりや人材育成を意識した公開授業のあり方（公開授業・協議）</li> </ul>
受講予定者数	9名
評価方法	参加者対象のアンケートにより評価する。
平成28年度の計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループ公開授業の企画・運営を通して、磨き合う教員集団づくりや組織を活性化するためのリーダーとしての資質を身に付ける。</li> <li>・5回実施</li> </ul>
平成29年度までの計画	28年度の研修の実施状況・反省を生かし、改善しながら同様の研修を行う予定である
○「伝達研修講座」	
対象	指定する19校の英語科教員（各校1名）とその他希望する英語科教員
目的	「新たな英語教育」をめざした授業づくりにおいて指導者に求められる資質・能力の向上を目指す。
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英語教育推進リーダーを講師とする域内での研修実習。</li> <li>・「話すこと」「書くこと」「読むこと」「聞くこと」「語彙・表現」に係る言語活動、教室英語、自己関連性、コミュニケーションを支えるための文法について学ぶ。</li> </ul>
受講予定者数	40名
評価方法	参加者対象のアンケートにより評価する。
平成28年度の計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「英語による英語の授業」など、新たな英語教育について学ぶ。</li> <li>・3日かけて実施</li> </ul>
平成29年度までの計画	28年度の研修をもとに次年度に向けた検証を行う。 最終的に市内全ての英語教員が受講できるよう計画的に進めていく。
○「公開授業研修講座」	



対象	中学校英語科教員（希望者）
目的	グローバル化に対応した新たな英語教育について、提案授業の参観や協議を通して学ぶ。
内容	英語教育推進リーダーによる提案授業（授業参観・協議）
受講予定者数	20名
評価方法	参加者対象のアンケートにより評価する。
平成28年度の計画	・伝達研修実施後に実施し、新しい英語教育についての具体的なイメージをもつ。 ・1回実施
平成29年度までの計画	毎年行い、「英語による英語の授業」や「指導と評価の一体化」について市内教員の意識を高めていく。

## ○「学習指導要領講座」

対象	中学校英語科教員（各校1名）
目的	生徒の確かな学力の向上を図るためにどのような授業が求められているのか、授業改善のポイントを知り、考え、学ぶ。
内容	文科省の教科調査官による講義
受講予定者数	37名
評価方法	参加者対象のアンケートにより評価する。
平成28年度の計画	平成28年は中学校で1回実施
平成29年度までの計画	小学校・中学校を隔年で行う。

## ○「教育課程研究会」

対象	市内全校から英語教員1名が参加
目的	・学習指導要領の趣旨に基づいた各教科等のねらいにふさわしい指導方法の研究・開発を進め、教員の資質と能力を高める。 ・小中連携や9年間の学びの連続性を視野に入れ、小・中双方の教員間で子ども観や指導観を共有していく。
内容	・発表者による研究成果の発表 ・参加者による研究協議
受講予定者数	37名
評価方法	参加者対象のアンケートにより評価する。
平成28年度の計画	平成28年度については、小・中合同で実施する。
平成29年度までの計画	平成29年度は、小・中別々に実施する。

**相模原市【小学校】**

## ○「伝達研修講座」

対象	市内全校（各校1名）
目的	・小学校教員の外国語活動における指導力の向上を図る。 ・推進リーダーからの伝達研修を受けることにより、各校で外国語教育を推進する中核教員を育成する。
内容	・英語教育推進リーダーを講師とする伝達研修。 ・教室英語、絵本の活用、単語や表現の学習、ALTとの打合せ、歌の活用、アルファベットの音、指導案の作成、他教科と関連した内容を取り入れた活動について学ぶ。

受講予定者数	72名
評価方法	参加者対象のアンケートにより評価する。
平成28年度の計画	・伝達研修を実施後、受講した中核教員が各学校において研修講師を務め、求められる外国語教育について校内の教員に伝える。 ・3日かけて実施
平成29年度までの計画	毎年実施し、各校の中核教員の数を増やしていくようにする。 併せて、中核教員による各校での研修も実施し、すべての市内小学校教員が外国語教育についての意識を高められるようにする。

## ○「学習指導要領講座」

対象	外国語活動担当者（各校1名）
目的	児童の確かな学力の向上を図るためにどのような授業が求められているのか、授業改善のポイントを知り、考え、学ぶ。
内容	文科省の教科調査官による講義
受講予定者数	72名
評価方法	参加者対象のアンケートにより評価する。
平成28年度の計画	平成28年は中学校で1回実施。
平成29年度までの計画	小学校・中学校を隔年で行う。

## ○「教育課程研究会」

対象	市内全校の外国語活動担当者（各校1名）
目的	・学習指導要領の趣旨に基づいた各教科等のねらいにふさわしい指導方法の研究・開発を進め、教員の資質と能力を高める。 ・小中連携や9年間の学びの連続性を視野に入れ、小・中双方の教員間で子ども観や指導観を共有していく。
内容	・発表者による研究成果の発表 ・参加者による研究協議
受講予定者数	72名
評価方法	参加者対象のアンケートにより評価する。
平成28年度の計画	平成28年度については、小・中合同で実施する。
平成29年度までの計画	平成29年度は、小・中別々に実施する。

## ○「ALTとの授業づくり研修」

対象	小学校外国語活動担当者
目的	各校の外国語活動担当者がクラスルームイングリッシュや授業におけるALTの活用の仕方について学び、実践的な指導力の向上を図る。
内容	クラスルームイングリッシュの使い方や児童の興味・関心を踏まえた活動、その進め方について学ぶ。
受講予定者数	72名程度
評価方法	参加者対象のアンケートにより評価する。
平成28年度の計画	同一日に5つのブロック（1ブロック10～20名の教員）に分かれて実施。各ブロックにALTが1名つく。1回45分程度の研修を年間5回実施。
平成29年度までの計画	平成28年度と同様

- ①中・高等学校の教員を対象とした研修は、適切な評価規準の設定とその評価、そのための授業づくりや言語活動の展開などについて、より理解を深めることを目的として実施した。
- (ア)「今、求められる英語の授業とは」と題して、関西大学教授 田尻悟郎氏を講師に迎え、評価規準に基づいた授業づくり、言語活動の在り方について、ワークショップを交えながらその実践を学んだ。
- (イ)「評価規準とその評価～パフォーマンスや会話テストとその評価～」と題して、東京外国語大学教授 根岸雅史氏を講師に迎え、適切な評価規準とその評価、特にパフォーマンステストや会話テストの進め方や表について理解を深めた。
- ②小学校の教員を対象とした研修は、小学校外国語活動が今、目指すべきこと、早期化・教科化に向けて準備すべきこと、これからの小学校英語教育について理解を深めた。
- (ア)「どうなる？どうする？小学校の英語教育」と題して、関東学院大学教授 金森 強氏を講師に迎え、小学校外国語活動が今、目指すべきこと、早期化・教科化に向けて準備すべきこと、これからの小学校英語教育について理解を深めた。
- (イ)「小学校外国活動の進め方①～③」と題して、本市の小学校外国語活動アドバイザー2名が講師となり、小学校外国語活動を通して身に付けさせたい力を再確認するとともにそれを身に付けさせるための具体的な指導の在り方や、教師が身に付けておくべき知識や技能について研修を進めた。
- ③市内の教育課程研究会での提案などを機会として、小学校外国語活動の単元や本時目標の設定の在り方、授業の展開の仕方、HRT や ALT の役割について理解を深めた。

## (4) 年間事業計画

## 神奈川県

月	都道府県等の取組			外部専門機関等
	県立総合教育センター主催	県立国際言語文化アカデミア主催	教育委員会高校教育課主催	
4月	指定研修 (初任者、 1・2・5・ 10年経験者 対象)		・校長対象教育課程説明会	
5月		・「英語教育アドヴァンスト研修」	・副校長・教頭対象教育課程説明会	
6月		・「英語教育アドヴァンスト研修」	・研修協力校における公開研究授業準備 ・研修協力校による近隣中学校の授業視察	・外部有識者(大学教授等)が研修協力校の授業を視察し指導・助言を行う。
7月		・「英語教育アドヴァンスト研修」	・研修協力校における公開研究授業準備 ・研修協力校による近隣中学校の授業視察	・外部有識者(大学教授等)が研修協力校の授業を視察し指導・助言を行う。
8月	・「小学校教員外国語活動指導力向上研修」(小)	・「英語教育アドヴァンスト研修」 ・「英語教員指導力向上研修」(中)		
9月	・「小学校教員外国語活動指導力向上研修」(小)	・「英語教員指導力向上研修」(中)	・研修協力校における公開研究授業準備 ・研修協力校による近隣中学校の授業視察	・外部有識者(大学教授等)が研修協力校の授業を視察し指導・助言を行う。
10月		・「英語教育アドヴァンスト研修」	・校長対象教育課程説明会 ・副校長・教頭対象教育課程説明会 ・研修協力校等における公開研究授業	・外部有識者(大学教授等)が研修協力校の授業を視察し指導・助言を行う。
11月		・「英語教育アドヴァンスト研修」	・研修協力校等における公開研究授業 ・教科別教育課程説明会(外国語・英語)	・外部有識者(大学教授等)が研修協力校の授業を視察し指導・助言を行う。
12月	・「英語教員指導力向上研修」(高)	・「英語教育アドヴァンスト研修」		

1月	・「英語教員 指導力向上 研修」(高)		・「英語教育アドヴ ァンスト研修」		
2月					
3月		↓			
<b>【その他の取組】</b> ・県立国際言語文化アカデミア主催による英語教員対象の各種講座に希望者が申し込み、主体的に指導力の向上を図る。					

**横浜市** 【高等学校】

月	都道府県等の取組 (横浜市教育委員会 高校教育課)	外部専門機関等
4月		
5月		
6月	・横浜市立大学「PE Grammar 教授法」	
7月		
8月	・英語科教員研修（横浜市立大学夏季研修） ・英語教育推進リーダー中央研修参加者による域内研修	
9月		
10月		
11月	・横浜市立大学「PE Grammar 教授法」	
12月		
1月		
2月		
3月		
【その他の取組】		

**横浜市****【中学校、小学校】**

月	都道府県等の取組	外部専門機関等
4月	小学校講演	
5月	中学校講演 英語教育中核教員研修①	
6月	英語指導力向上研修①	
7月	中学校授業研究会 英語指導力向上研修②	
8月	教育課程研究協議会（小中合同） 英語教育中核教員研修②	
9月	英語指導力向上研修③ 英語教育中核教員研修③	
10月		
11月	中学校授業研究会 英語指導力向上研修④ 英語教育中核教員研修④	
12月	小学校一斉授業研究会	
1月		
2月	中学校授業研究会 英語指導力向上研修⑤ 英語教育中核教員研修⑤	
3月		
<b>【その他の取組】</b>		

**川崎市【高等学校、中学校、小学校】**

月	川崎市の取組	外部専門機関等	
1月	平成 27・28 年度小学校 外国語（英語）教育 中核教員研修 ①	小学校：有識者による講演 （神奈川大学 高橋教授）	
2月	平成 27・28 年度中学校 外国語（英語）教育 指導力向上研修 ①		
3月	平成 27・28 年度高等学校 外国語（英語）教育 指導力向上研修 ①②		
4月	平成 27・28 年度中学校 外国語（英語）教育 指導力向上研修 ②	平成 27・28 年度小学校 外国語（英語）教育 中核教員研修 ②	
5月		全校種通年：川崎市総合教育セ ンター専門員による指導 （東京家政大学 太田教授）	
6月	平成 27・28 年度高等学校 外国語（英語）教育 指導力向上研修 ③	平成 27・28 年度中学校 外国語（英語）教育 指導力向上研修 ③④	
7月	平成 27・28 年度中学校 外国語（英語）教育 指導力向上研修 ⑤⑥	平成 27・28 年度小学校 外国語（英語）教育 中核教員研修 ③④⑤	
8月	平成 27・28 年度高等学校 外国語（英語）教育 指導力向上研修 ④⑤	川崎市総合教育センター主管夏季希望研修 ・小学校外国語教育 ・中高等学校外国語教育 ※外部専門機関の活用	
9月	英語教育推進リーダーによる公開授業 授業研究会実施 （9月下旬～12月上旬）		
10月			
11月			
12月			
1月	平成 28・29 年度高等学校 外国語（英語）教育 指導力向上研修 ①	平成 28・29 年度小学校 外国語（英語）教育中 核教員研修 ①	小学校：有識者による講演
2月	平成 27・28 年度 指導力向上研修 実践報告書提出	平成 28・29 年度中学校 外国語（英語）教育 指導力向上研修 ①  平成 27・28 年度 指導力向上研修 実践報告書提出	平成 27・28 年度 指導力向上研修 校内研修報告書提出
3月	平成 28・29 年度高等学校 外国語（英語）教育 指導力向上研修 ②		

**【その他の取組】**

- ・ 小学校国際教育研究会外国語活動部会、中学校英語科部会、高等学校英語科部会との連携
- ・ 英語教材作成支援システム LEAD（NHK エデュケーショナル）の中・高等学校への導入と活用



## 相模原市

月	都道府県等の取組	外部専門機関等
4月		
5月	初任者研修講座 5年次研修講座	
6月	3年次研修講座 5年次研修講座（7月までの間に授業公開1回） 10年経験者研修講座 ALTとの授業づくり研修	
7月	小学校伝達研修講座（3日） 中学校伝達研修講座（1日）	
8月	初任者研修講座 10年経験者研修講座 中学校伝達研修講座（2日） 教育課程研究会	
9月	3年次研修講座（1月までの間に授業公開2回・選択研修1回） 5年次研修講座（1月までの間に授業公開1回・選択研修1回） 10年経験者研修講座 10年経験者研修講座（2月までの間に市内研究発表に参加） 公開授業研修講座（2月までの間に1回）	
10月	初任者研修講座（1月までの間にグループ公開授業2回） 10年経験者研修講座（1月までの間にグループ公開授業1回） ALTとの授業づくり研修	
11月	学習指導要領研修講座 ALTとの授業づくり研修	
12月		
1月	ALTとの授業づくり研修	
2月	初任者研修講座 ALTとの授業づくり研修	
3月		
【その他の取組】		

**横須賀市**

月	都道府県等の取組	外部専門機関等
4月		
5月		
6月	小学校外国語活動研修①	
7月	小学校外国語活動研修講座①	大学教授
8月	外国語研修講座① 外国語研修講座②	大学教授 大学教授
9月		
10月		
11月	小学校外国語活動研修②	
12月		
1月		
2月	小学校外国語活動研修③	
3月		
<b>【その他の取組】</b> 校内研修会は、各小学校の依頼により随時開催。		